

新しい BOS 財団プログラム RHO (オランウータン生息地復興) の制定

序文

2010年12月9日(木)に、BOS財団の西ジャワボゴールのパパンダヤン10の事務局にて会議が開催されました。参列者には、BOS財団の最高責任者・取締役のトグ・マヌルング博士(Dr.E.G.Togu Manurung)秘書のヌルマン・タスマン氏(Nuruman Tasman)財務取締役、イマン・タウフィク氏(Iman Taufik)最高責任者の最高顧問であり、モニタリングと価値判断をするジャクリーン・サンダーランド・グローブス氏(Jacqueline Sunderland-Groves)と報道、資金募集の最高責任者の最高顧問であるジョエル・パーマー氏(Joel Palmer)が出席しました。PT.RHOIからは、社長のジャマーティン・シヒテ博士(Dr.Jamartin Sihite)と副社長のアストリック・ムルサティオ・ブディ氏(Astrik Mursatio Budi)が出席しました。

この会議の目的は、RHO(オランウータン生息地復興)と呼ばれる新しいBOS財団のプログラムの構成と役割について議論することでした。参列者全員が、以下の文書に賛同しました。

2010年12月10(金)にこの会議の結果とRHOの制定について、BOS財団の取締役がジャカルタのマルズキ ウスマン スディルマン広場にてBOS財団の理事長へ報告した。RHOのプログラム構成は、理事長ブンガラン・サラギ博士(Professor Bungaran Saragih)によって満場一致で承認されました。

オランウータンの生息地復興(RHO)プログラム

論理的根拠

ボルネオ・オランウータン・サバイバル・ファウンデーション(以下BOS財団)はインドネシアのヤヤサンにあり、ボゴールの本部と西ジャワの4か所にて構成されている。その2か所が、東カリマンタンを中心に、オランウータンのリハビリプログラムがサンボジャレスタリ(PROKT-SL)とサンボジャレスタリ島のリハビリプログラム(PRL-SL)で行われている。残り2か所は、中央カリマンタンを中心に、再導入プログラムがニヤイルメンテン(PROKT-NM)とマウス保護地区のプログラムで行われている。

BOS財団は、連続してリリースをするつもりであり、東カリマンタンのBOS PROKT-SLとBOS PROKT-NMにリハビリしたオランウータンのリリース場所を現在位置づけしている。ニヤイルメンテンのスタッフと専門家は、ニヤイルメンテンから中央カリマンタンに、リリースするための取り扱い方法等について経験があります。私達は、このプログラムが拡大することを期待します。しかし、東カリマンタンの場合は、島の所有権やリリース場所、可能な限りすぐにリリースとモニタリングできる経験豊かな職員を必要としていることが違いである。

必要性を重視し、BOS財団最高責任者は東カリマンタンでのリリースとその後のモニタリングに専

念するプログラムを提案した。RHO プログラムでは、すぐに対応することができないため、新プログラムを理事長によって承認された。

1. リリースとモニタリングの資金を可能な限り確実にするために

BOS 財団は、インドネシアの法律の下に非営利団体として設立され、寄附金は救助したり、オランウータンのリリース、リハビリそれと同様にオランウータンの生息地復興のプログラムに、資金を供給するため受け入れるように権限を与えられている。しかし、財団として BOS 財団は、合法的にリリースする地区を獲得することができないがオランウータンのリリースする場所を必要としている。オランウータンを森に還す計画として、BOS 財団は保護地区だけを獲得するための営利企業を設立した。この企業は PT.RHOI と呼ばれ、BOS 財団が株を過半数しめ、長期的に BOS 財団がオランウータンのリリースと生息地の保護管理を手助けし保護地区の維持管理及び獲得をするための仕組みである。個人企業として合法的に、慈善組織から資金は受け取れず、直接的に BOS 財団経由で、オランウータンのリリースや生息地保護、モニタリングを指示してくれる提供者から、資金を入手することはできない。PT.RHOI は、BOS 財団のローンに頼っている。

2. リリース過程の完全なマネジメントとリリース後のモニタリング継続の確実にするために

BOS 財団プログラムでは、RHO は BOS 財団によって経営され、財政的に援助されていく。PT.RHOI は、収入によって経営することができ、資金はただ一つの目的、オランウータン保護と保護地区マネジメントに使われています。

RHO プログラム

1. 行動

- ・ RHO プログラムは、オランウータンのリリースとモニタリングに関係している。
- ・ プログラムは、リリースを先導するのに PROKT-SL と協力、共同する。
- ・ プログラムチームの RHO と PROKT-SL は、共同してオランウータンの輸送状況や現地での手当て等を予期している。チームメンバーは PROKT-SL から、動物や要因、安全な輸送確保と定住するオランウータンについて精通している。
- ・ RHO は、土地が長期的な捕虜としての解決が必要なので、オランウータンに関連する介入について PROKT-SL で相談され期待されている。

2. 行政と標準営業の手順

全ての BOS 財団プログラムの標準営業手順は、BOS 財団プログラムの RHO の関係で支持されている。

3. 人件費

プログラムマネージャーとスタッフ

BOS 財団のプログラムでは、プログラムマネージャーは任命され私たち HQ と同等に責任を負うことを個人に求められる。これは、HQ の承認が必要とされ、資金提供の使用可能性の必要性をプロ

プログラムの基本としている。職員募集の際は、特定のスキル、適切さ、サンボジャレスタリでのオランウータンの世話をしている既存のスタッフの考察を考慮して行う必要がある。

プログラムマネージャーは他全ての BOS 財団プログラムマネージャーとして、交換する権利や RHO プログラムで働いているスタッフの任意のメンバーを保留することができます。(契約終了、満期契約、退職、辞任)

4. 財政

財政責務

RHO プログラムは、同じ財政標準と他の BOS 財団プログラムとして報告形式に続く。

年間、年 4 回、毎月の財務計画が、プログラムマネージャによって行動計画と予算を基準として計画される。

5. 資金募集と報道

資金募集

BOS 財団プログラムとして、資金募集と報道の最高顧問者を通して、RHO に流れる資金は功があるだろう。全ての資金計画は、BOS 財団の HQ によって提出され、CEO によって認定される。

報道

全ての報道はプログラムに関して、CEO の最高顧問者を通して通信される。この部分は、プログラムと提供者、その他のサポーターとのコミュニケーションのはっきりとした線を設置するために協働する。

フィールド訪問

プログラムマネージャーは、正常な HQ 過程を通して BOS 財団職員でない方がフィールドを訪問するのを組織する。訪問者は、BOS 財団の条件と状況がテーマとなる。

6. プランニングとモニタリング、評価

計画

プロジェクト計画は（長期、中期、短期）プログラムのプロジェクトマネージャーによって CEO の最高顧問者と協同して始められる。

特定のオランウータンのリリースとモニタリングプログラムは、長期、中期、短期で計画され、プログラムマネージャーが準備をし、CEO の最高顧問者と SAB によって審査承認をされます。さらに、外部から個別な BOS 財団へのアドバイザーを含め、計画書の審査承認が行われる。

モニタリングと評価

全てのモニタリングと評価のシステムは、プログラムマネージャーと最高顧問者が協同して設立、管理される。